

高根沢町長 加 藤 公 博 様

高根沢町議会議長 佐 藤 晴 彦

「中学生とのカフェ・ド・ギカイ」からの提言

令和 4 年 8 月 25 日に開催した「中学生とのカフェ・ド・ギカイ」において、「大人になっても住み続けたい町」となるためにというテーマで中学生と意見交換をしました。
そこで出された意見を町づくりに反映させるため、町に対し次の提言をいたします。

記

テーマ 1：学校生活をより良くするために

①タブレットなどの ICT 機器の活用について

学校及び家庭での学習環境に見合った有効活用をすること。
適切な宿題について、教育委員会において検証すること。

②学校行事について

生徒の意志を尊重した行事計画となるよう、町教育委員会から各校に指導すること。

③部活動について

国において部活動の民間移行についての検討が始まってきたことをふまえ、本町においても練習時間や練習環境を含め、より充実した部活動の在り方を再度教育委員会で検証すること。

④学校施設の充実や安全確保について

利用する生徒の声を受け止め、早期に点検や改修につながる仕組みづくりをすること。

⑤校則について

今の時代に即した校則になるよう、生徒と学校が協議を進めるよう、教育委員会から各校に指導助言すること。

また、行き過ぎた校則がないか教育委員会で適時点検すること。

テーマ2：町全体として必要なことは

①町の新たな魅力創造について

町の魅力の一つである田んぼを活かした新たなシンボルを創る政策など、町の魅力を訴える新たな構想に取り組むこと。

鬼怒グリーンパークが、より幅広い年代が利用できる施設や事業を創設するよう、県等の関係機関に要望すること。

②道路整備や交通安全について

道路の危険箇所については、担当課のパトロールや、郵便局との協定による連携、町民からの通報等により、早期発見の仕組みが構築されていると思うが、今後も引き続き、危険箇所の早期解決に努めること。

生徒が日々感じている通学路の危険箇所や要改善点に対し、声を聞く機会を作ること。

③山林や空き地の整備について

町有地については、草の繁茂がないよう、適切に管理すること。また、民有地においても、道路の通行に支障がある場所は、適切な指導をすること。

住民による河川愛護活動が困難になってきている地区もあることから、状況の改善に努めること。

④町有施設の充実について

スポーツ施設や公園などがより充実するよう、新庁舎の整備に合わせて協議していくこと。

学校施設や生涯学習施設において、利用者の声を尊重した改善、修繕をすること。

⑤教育制度等について

小中学校間の交流について、児童生徒や教員とで検討することや、提案された事業が構築できるよう、教育委員会が各校に指導助言すること。

学校活動での外部指導員のより幅広い活用について、調査・研究を行い、より良い教育につなげること。

⑥商店の充実

飲食店や小売店が増えるためには、人口増加が必須と思われることから、「定住人口増加プロジェクト」を着実に進めていくこと。

市街化調整区域の人口減少を防ぐ施策を行うこと。

飲食店など購買環境の充実について、町から関係機関へ働きかけを行い、協働による町・地域づくりに取り組むこと。